

プレスリリース

ニューデリー、日付：2020年11月26日

NHSRCL（国立高速鉄道株式会社）は、4つの駅とバスステーションを含むMAHSR計画路線における47%の設計および建設に関して、国内最大のインフラストラクチャ契約に署名します

国立高速鉄道株式会社はムンバイ-アーメダバード間の508kmの高速鉄道路線（バピ（マハラシュトラ - グジャラート国境のザロリ村）とグジャラート州のバドダラの間）における長さ237kmの高架橋の設計および建設を目的に**Larsen & Toubro Limited**と契約を締結しました。契約には、4つの駅（ヴァピ駅、ビリモラ駅、スラト駅、バルーチ駅）、スラト・バスターミナル、14の河川横断路、42の横断歩道、1つの山岳トンネル（350メートル）および6つの踏切も含まれます。

駐インド日本国特命全権大使、鈴木哲 様ヤダブ氏（最高経営責任者兼鉄道委員会委員長）、シュリ・アカル・カレ氏（取締役社長）、アショク・クマール・チャウラ・ジ教授（日本外務省東アジア課NHSRCL顧問、NHSRCL理事会）、シュリ・S.N.・スブラマンヤム氏（Larsen & Toubro Limited CEO兼取締役社長）およびNITIAayog、鉄道省、JICA JICC NHSRCLその他の高官がデリーのNHSRCL本社で開催された契約調印式に出席しました。（必要に応じて修正されます）

この入札における技術入札は2020年9月23日に開始され、1か月以内、つまり2020年10月19日に、技術入札の評価後に価格入札が開始されました。受諾書は2020年10月28日に発行されました。

工事完了までの期間は、契約開始日から4年です。

このセクションの建設段階において、計画路線周辺の領域にて社会的および経済的発展が見られることでしょう。エンジニア、技術者、設計者、建築家などの専門家だけでなく、熟練および半熟練の労働力や建設労働者にも雇用が創出されます。建設資材やセメント、鉄鋼、重機、クレーン、トレーラーなどの機械需要が高まり、サービス業、エンターテインメント、健康、観光、不動産、住宅、教育などの関連産業も建設中に活気に満ち溢れるでしょう。

添付書類：
調印式時の集合写真
